

❄️ 第28回水郷水都全国会議大会 in 津南 ❄️

～雪と湧水の“縄文の里”で水環境を考える～

開催主旨〈ご案内〉

総延長367キロの大河信濃川が刻んできた雄大な日本一の河岸段丘(越後妻有地区)で、今夏も現代アート展“大地の芸術祭”がおこなわれている。「悠久の歴史」を映す中流域の風土にふさわしい。近くの阿賀野川水系・只見川の銀山平には、作家・開高健の文学碑「河は眠らない」が建つ。歲月も川の流れのようにとまらない。時代の激流に洗われ、人は何が「原点」であったかを忘れがちである。

1984年、琵琶湖で開催された第1回世界湖沼環境会議に触発されて、翌1985年に第1回水郷水都全国会議が島根県松江市で開かれた。その松江宣言では、「都市と水との共存関係こそは、地域社会の基盤である」として、住民が水都再生のまちづくりに参画する権利を確立することによって、「はじめて魅力ある地域社会を創造することができる」と謳っている。この確信に支えられて、国が強行した「中海・宍道湖の淡水化計画」を阻止し得たのであろう。

また、「日本名水百選」は環境庁が各都道府県に名水候補地を推薦してもらった784件の中から、慎重に選定(1985年)された。その基準は何であったろうか。選定委員を務めた伊藤和明さんは、「まず、水質、水量、周辺環境、親水性の観点からみて、良好な状態にあること。そして何といても、地域住民などによる名水保全の活動があること。この二点を必須条件とした」と記している(木原啓吉編『水の時代をひらく』LGC総合研究所、「『名水百選』と水環境の保全」)。

3・11以後の揺らぎの時代を生き抜くためには、「自然との共生」を根本的に再考する必要がある。12,000年余の縄文の歴史文化を誇る、日本名水百選「竜ヶ窪」の里・新潟県津南町で開催される第28回大会が、「原点回帰」になることを心から期待し、多くのみなさまのご参集を乞う。

大会実施要項

●第28回水郷水都全国会議大会

(1)日 時 11月24日(土)13:00開場～25日(日)12:00閉会。

(2)会 場 津南文化センター(新潟県津南町下船渡丁2806-3、☎025-765-3134、JR飯山線「津南駅」徒歩22分)。

※JR上越新幹線「越後湯沢駅」東口より、送迎バス利用可(ただし、綿屋旅館、しなの荘、雪国の宿泊者に限定)。

①24日(土)10:00発、12:00発、大会会場まで。 ②25日(日)12:30発、会場→「越後湯沢駅」東口まで。

※上記の3旅館の宿泊費:<1泊朝食付、綿屋旅館=6,500円。温泉旅館・しなの荘、雪国=6,650円(+温泉入湯税@150円)、送迎込。すべて男女別2～6人の相部屋。交流会に不参加で1泊2食付@8,650円>

《参考》「越後湯沢駅」東口よりの路線バスは9:30発のみ。JR長野新幹線「長野駅」乗換え、飯山線「長野駅」10:15発→「津南駅」12:37着のみ(千曲川畔を走るローカル線の旅に最適)。

(3)参加費 2,000円(資料代等、事前振り込みが原則)

(4)内 容

①全大会<ホールで目標200人>13:00開場、13:30開演～

○全国実行委員会共同代表あいさつ…………… 13:33

○現地実行委員会委員長あいさつ…………… 13:36

○事務局からのガイダンス(日程、資料、宿泊等)…………… 13:45

②基調講演(各45分質疑応答を含む)

○「大河信濃川が育んだ縄文の里」…………… 13:45～14:30

講師:佐藤 雅一(津南町「農と縄文の体験実習館」学芸員)

○「川とは? 水枯れの大河・信濃川に鮭の道を拓く」…………… 14:31～15:15

講師:大熊 孝(水郷水都全国会議共同代表・新潟大学名誉教授)

●休憩<15分間、センター内の分科会会場に移動>



③分科会 (@15分、各先着5報告で締切。調査研究や地域での実践を発表しませんか。「成果」ばかりでなく、失敗例なども歓迎)。万一、報告者が少ない場合には、統合・再編を検討。……………15:30~17:20

*『報告資料集』2頁<2,400字以内、図表、写真等含む>、デジタル入稿締切10月20日。

入稿先 : h-yazama@oregano.ocn.ne.jp。

□第1分科会:1985年環境庁選定「日本名水百選」はいま

*竜ヶ窪ほか「危機に瀕する名水」の保全活動の報告を募集。「地下水はだれのものか」「水循環基本法」制定運動等。

□第2分科会:河川・湖沼・海をめぐる課題と実践

*千曲川・信濃川における河川環境と発電ダムの共生(「ダムと魚道」サケの放流遡上等)。

*撤去工事が始まった荒瀬ダム(熊本県球磨川)、ダム撤去運動、溪流保全、河川再生運動等の報告を募集。

□第3分科会:自然再生エネルギー(小水力発電、克雪利雪等)

*省エネルギー、脱原発をめざす挑戦、調査研究の動向。各地の失敗・成功の具体的な実践例の報告を募集。

□第4分科会:3・11以後の地域づくりの課題

*3・11巨大地震、大津波、「フクシマ」をめぐる生存権をかけた人間環境再生の活動、霞ヶ浦の放射能汚染、ダムの決壊。

*東日本大震災の復興事例、疎開・避難者の声、文明史的転換を促す実践的ビジョン、脱原発等の報告を募集。

④交流会…………… 24日(土) 18:00~21:00

○参加費=@5,000円<大会参加費と一括振り込み>。

○会 場=綿屋旅館(津南町大字下船渡戊450。025-765-2034)。

*送迎バスで移動、他に、しなの荘、雪国のバスも使用可。

⑤全体報告会(ホール)…………… 25日(日) 9:00~12:00

○各分科会から概要報告@30分(質疑を含む)。

○第28回大会宣言案の採択 *終了後、12:30発、各旅館の送迎バスで約40分、JR越後湯沢駅へ。



(5)申込方法

○4頁の「申込書」の所定の項目にご記入のうえ、現地事務局へ早めにFAX又は郵送、メール添付でお申し込みいただき、参加費納入(契約)を済ませてください。

○前夜祭・分科会・宿泊・送迎バス等の定員厳守で、先着契約順で定員になり次第、締切ります。

(6)主 催

●水郷水都全国会議津南大会実行委員会

(実行委員長:中山 弘、事務局長:小林 幸一)

〒949-8201 新潟県津南町下船渡戊1061-12 中山方

☎090-4969-3777:FAX0368-93-3937 メール:hirotappo@yahoo.co.jp

◎振込口座=北越銀行南支店:普通預金。

名義:水郷水都全国会議津南大会実行委員長 中山弘(ナカヤマヒロム)。

口座番号:普通2015340。

●水郷水都全国会議

(共同代表:大熊 孝・奥井 登美子・保母 武彦、事務局長:竹下 幹夫)

〒690-0043 松江市袖師町99 内藤ビル203号 ☎・FAX 0852-21-8683

(7)後援・協賛団体

○後援:新潟県津南町、津南町教育委員会、新潟日報社、津南新聞社、十日町新聞社、信濃毎日新聞社、週報とうかまち、(財)日本自然保護協会、新潟水辺の会、信濃川をよみがえらせる会。

○協賛:隅田川市民交流実行委員会、土浦の自然を守る会、よこはまかわを考える会、NPO全国水環境交流会、全国自然保護連合、千曲川・信濃川復権の会。

エコツアー

(日本の秘境100選「秋山郷」で大会前夜祭:多様な人間交流のひろば)



(1)日 時(天候の都合でコース変更もあり得ます)

①11月23日(金)13:30JR上越新幹線「越後湯沢駅」東口集合!チャーターバスにて13:35出発→日本名水百選・竜ヶ窪(自家用車での参加者は、同駐車場に14:30集合!)→柱状節理見学→廃校を活用した天然温泉「かたくりの宿」宿泊<025-761-5205、男女別4~7人の相部屋>、18:00前夜祭(交流会)。

②翌24日(土)8:30宿出発→千曲川・東京電力西大滝ダム→「豆富料理:大勝」にて昼食後12:20解散→会場「津南文化センター」へ徒歩1分で合流。

(2)参加費<大会参加費と一括振り込み>。

○@13,000円(バスチャーター代、1泊3食、交流費、保険代、実踏費、その他)。

*申込者には別途「実施要項」を送付。

○自家用車で参加の方(定員10人)は@12,500円。

○キャンセル料(11月1日以降@4,500円、前日及び当日は@10,000円)。

(3)定員(その他)

○申込先着37人<自家用車で参加の方を含む>締切!

○このツアーにおける事故補償は、三井住友海上火災との保険契約(最大補償2,500万円)の範囲内になります。予めご承知置さください。保険契約に生年月日が必要。

*千曲川・信濃川復権の会(〒184-0012東京都小金井市中町2-5-13 ☎FAX0423-81-7770)が事務管理。

*寒冷地です。防寒具、保険証をご持参ください。



(4)主催

○水郷水都全国会議大会in津南現地実行委員会

<参考文献>

◇水郷水都全国会議編『ふるさとづくり提言の時代』定価500円。

◇千曲川・信濃川復権の会『奔流』第7号収録、奥井登美子著「水の時代をひらく~水郷水都全国会議の27年」無料。

◇三浦英之著『水が消えた大河で~JR東日本・信濃川大量取水事件』現代書館、定価1,800円。

◇村松昭著『日本の川 ちくまがわ・しなのがわ』偕成社、定価1,400円。

◇三室勇・木本生光・小鶴隆一郎・熊本一規著『よみがえれ!清流球磨川一川辺川ダム・荒瀬ダムと漁民の闘い』緑風出版、定価2,100円。

◇つる詳子著『日本初のダム撤去の現場から 荒瀬ダム問題と球磨川の再生』公害・地球環境問題懇談会、無料。

◇全国小水力利用推進協議会編『小水力発電がわかる本』オーム社、定価2,500円。

◇篠原孝著『原発廃止で世代責任を果たす』創森社、定価1,600円。

◇小林久ほか5人共著『地域の方で自然エネルギー!』岩波ブックレット、定価500円。

◇金子勝著『原発は不良債権である』岩波ブックレット、定価500円。

※写真(1)頁は津南観光協会提供。(2)、(3)頁は「かたくりの宿」パンフより。

